

# 留学生10人がスピーチ

東洋大で弁論大会 **板倉**

第10回東洋大学板倉キャンパス日本語弁論大会(同大主催、YC館林など後援)が4日、同キャンパスで開かれた。同大国際地域学部へ留学中のベトナム、韓国、中国、スリランカ出身の学生10人が出場し、留学経験から感じたことや、日本社会に対する思い、母国の



紹介などを日本語で語った。1位は「隣人を助ける」と題して、母国スリランカの孤児院でのボランティア体験を話したルチニ・ニサンサラさん(3年)。

同大会は、留学生の日本語能力の養成と、日本人学生や地域の人との交流を目的に毎年開かれ、今年で10年を迎える。同学部は来年、東京都文京区の白山キャンパスに移転するため、板倉キャンパスでの思い出作りにと、垣本せつ子教授らが熱心に指導を行ってきた。会場には、日本語教育に関心を持つ日本人学生など約50人が詰めかけ、熱心に耳を傾けた。

母国の歴史  
を話す韓国  
人留学生